

「子どもの生活に関する実態調査」の概要

○実施目的

- ・本県の子どもの貧困対策が、より県民ニーズに寄り添ったものとなるよう、県内の子どもとその家族の生活状況、格差実態、及び各種支援制度の利用状況を調査する。
- ・併せて、県内の母子世帯、父子世帯、寡婦世帯の実態等も把握し、ひとり親世帯等の福祉において重点的に取り組むべき課題を明確化する。
- ・なお、本調査の成果は令和2年度に策定予定の「(仮称)第2次経済的困難及び社会生活上の困難を抱える子どもを支援する奈良県計画」※の基礎資料とする。

(※本計画は、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」第12条に基づく「母子家庭等及び寡婦自立促進計画」と一体的に策定されている。)

○実施概要

	ひとり親世帯等に対するアンケート調査			小中学生の子がいる世帯に対するアンケート調査	
調査期間	令和元年 8月1日～9月10日			令和元年 10月15日～11月11日	
調査対象	県内で児童扶養手当を受給している母子家庭の母・父子家庭の父及び奈良県母子福祉連合会の会員である寡婦			県内の公立学校に通う小学5年生・中学2年生の児童生徒及びその保護者	
調査対象人数	母子家庭	父子家庭	寡婦	小学5年生及び保護者	中学2年生及び保護者
	3,100	500	400	2,000	2,000
調査票配布	市町村窓口で配布		郵送	学校から配布	
調査票回収	郵送			郵送	
調査項目	資料8のとおり			資料9のとおり	